

平成29年度 事業報告

社会福祉法人 以和貴会

平成 29 年 度 事 業 実 施 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

1. 運営方針

『安全そして安心』の基本理念の基に利用者個人の尊厳を尊重し、利用者が有する残存能力や健康状態に応じた生活を営むことができるよう『尊敬・感謝・奉仕』の気持ちを持ち、常に利用者の立場に立ったサービスを提供するよう努める。また、利用者が安心して楽しく生活できるよう個別支援に努める。

2. 事業方針

(1) 介護支援

基本方針	利用者及び家族のニーズを把握し、ニーズに基づく個別のサービス計画書を作成するとともに、適切な介護支援を行い、利用者の生活の質が向上するように努める。	
	重点目標 / ・ 実施計画	※ 実施報告
	1. 個別のケアプランを担当介護員とともに多職種協働で作成する。 ・多職種協働で作成し、サービス内容を十分理解しながら適切な介護支援を行い、介護サービスの向上に努める。	※入所者個別のケアプランを担当職員と共に多職種協働で作成した。 ※入所者と関わる介護員や看護師との情報共有、共通理解を深め、サービス内容の向上に努めた。
	2. 研修に参加し、スキルアップを図る。 ・自らのケアプラン作成・実施状況について評価し、利用者の生活の質を高めるケアプランの作成、実施に努める。	※今年度、研修への参加なかった為、来年度は積極的に参加し、介護支援のスキルアップに努めたい。 ※ケアプラン作成、実施状況を評価し、ケアプラン内容の向上に努めた。

(2) 生活相談

基本方針	介護状態の重度化により病態が増悪した入所者が増え、職員としても多種多様な対応が必要となってきたことから、この対策を重点目標とする。	
	重点目標 / ・ 実施計画	※ 実施報告
	1. 身体状態の重度化に伴う対策について ・身体状況の重度化が進んできていることから、ご家族との連絡や医療機関との連携がより必要となるため、きめの細かい連絡調整を迅速に行い、他の施設職員とも連携を図りチームで対応できるような構造を作る。	※介護区分からの身体状況の重度化の推移を見ると、前年度の要介護4及び5の利用者は85.2%であったが、今年度においては90.6%となっており、医療機関への入院数も前年度は述べ入院数は799人であったが、今年度は、1,031人と前年の1.29倍と増加している。 ※各々の介護職員が身体の変化を速やかに把握し、医師、看護師、ケアマネージャー等に報告することにより、入院先の医療機関の医師、看護師、医療相談員等と情報共有を行い、医療機関での治療が速やかに開始できたと思われる。
	2. 入所稼働率の安定化を図る。 ・利用者の重度化により入所期間が短くなることから、スムーズな利用がはかれるよう、施設職員の考え方を統一し、迅速な調整が図れるようにする。	※前年度の利用状況と比較すると、利用述べ人数で年間52名の減となり、ベッドの稼働率は前年度99.0%であったが、今年度においては、98.9%と0.1%の減となった。 ※前項でも述べた通り、入院数が増加していることから、退所より新規入所までの期間を短縮できるよう調整してきたが時間がかかってしまった。

(3) 健康管理

基本方針	利用者の健康状態を的確に把握するとともに、嘱託医師との連絡を密にし、健康管理の徹底強化と疾病の予防に努める。	
	重点目標 / ・ 実施計画	※ 実施報告

1. 入所者の健康状態の管理 ・医師・看護・介護の連携のもと、入所者一人一人のバイタルサインと体調チェックをし、早め早めの対応をする。	※医師・看護師・介護員・生活相談員・介護支援専門員の連携のもと、利用者一人一人のバイタルチェックと体調をチェックし、早めの対応をすることにより、重症化の防止に努めた。
2. 誤嚥の防止 ・食前体操を行い口腔機能を高めるとともに経管栄養者の利用者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努める。	※食前体操により口腔機能を高め、経管栄養の利用者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努めた。
3. 転倒防止 ・機能訓練を行い筋力の低下を防ぎ、転倒防止に努める。	※リズム体操・歩行訓練などの機能訓練を行い、筋力低下防止に努めた。

(4) 給食

基本方針	利用者の健やかな老後のため、食を通じて健康の維持・増進を図り、季節の行事食などから楽しく豊かな生活を過ごしていただく。	
重点目標 / ・実施計画	※実施報告	
1. 健康の維持・増進のため、個々の適切な栄養管理を図る。 ・栄養ケアマネジメントの実施により、リスク状況を把握し、多職種とともに低栄養防止や改善に努め、個々の健康維持・増進を図る。	※毎月栄養ケアマネジメントを実施し、利用者一人一人の栄養状態に応じた適切な食事提供に努め、健康管理を図った。	
2. 個々のQOL(生活の質)の向上に努める。 ・個々の嗜好にあわせ、代替食を提供したり、月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。	※入所時は必ず嗜好調査を行い、それにより代替食等の提供を実施した。特別な行事食を平均月2回実施し、利用者が季節を感じられ、特別なご馳走だなど思っていただけのようなメニュー作りに努めた。	

(5) 職員

基本方針	職員の健康管理に留意するとともに、職場内外の研修に積極的に参加し、専門職としての知識・技術及び資質向上に努める。	
重点目標 / ・実施計画	※実施報告	
1. 専門職としての資質向上に努める。 ・各研修会に積極的に参加する。 ・資格取得に努める。	※各種団体主催研修に参加し資質向上に努めた。 (「研修会参加一覧」をご参照ください。)	
2. 健康管理に留意する。 ・定期健康診断の実施結果をもとに自己管理を呼びかける。 ・インフルエンザ予防接種を実施し、疾病の予防に努める。	※健康診断・インフルエンザ予防接種を実施し、健康の留意を働きかけ、疾病の予防に努めた。	

(6) 苦情処理

基本方針	苦情発生の状況をいち早く察知し、迅速な対応ができるよう、職員全体で取り組んで行く。	
重点目標 / ・実施計画	※実施報告	
1. 基本的なミス等による苦情をなくす。 ・不適切な言葉づかいによる苦情発生をなくすため、接遇研修に職員が参加できるような機会を設ける。	※特に苦情の発生はなかったが、接遇研修には参加できなかった。	
2. 苦情発生の際に迅速な対応を行う。 ・苦情が発生した場合、原因を明確にし、職員で情報の共有化を図るとともに、苦情発信者に対しては迅速・丁寧な対応を心掛ける。	※今年度においては、苦情の発生はなかったの で、迅速・丁寧な対応への心掛けは継続していきたい。	

(7) 事故防止

基本方針	事故発生の原因の考察と対策を迅速に行い、ケアプラン等において対策の共有化が図れるような体制を構築する。	
重点目標 / ・ 実施計画	※ 実施報告	
1. 事故発生の原因の考察を行う。 ・事故がどうして発生したかの事故発生メカニズムをチームで考え、事故の原因となるものの改善対策を行う。	※事故報告書にて事故原因の考察を行ってきたが、昨年度と比べると18件の増加が見られるため、更に事故原因の考察を強化して行きたい。	
2. 事故対策としてのケアプランの活用 ・ケアプランに事故対策を盛り込むことにより、ご家族に事故の対策を周知するとともに、職員への情報の共有化を図る。	※事故発生時に家族へ事故の原因や今後の対策について説明を行いご理解を得ると共に、必要があれば、ケアプランの見直し等を行い、事故対策を介護職員へ周知し対応の共有化を図った。	
3. 状態の重度化に伴う対応について ・状態が重度化する傾向にあるため、家族の治療のニーズを捉え、医師・看護師・ケアマネジャー・介護員・生活相談員等の連携を密にし、早急に医療機関へ受診または入院できるよう対応する。	※通院や入院の必要性のある方には、速やかに医療機関での受診ができるよう、嘱託医師からの家族への説明を含めスピードをもって対応ができた。	

(8) 施設防災

基本方針	火災・自然災害の発生を想定し、防災訓練を実施する。	
重点目標 / ・ 実施計画	※ 実施報告	
1. 防災訓練の実施 ・消防計画に沿って避難訓練を実施し、職員に対し防災に対する意識づけを行う。	※消防計画に基づき避難訓練を実施した。	
2. 防災マニュアルの策定 ・火災のみならず、自然災害などによる被災を想定し、その災害ごとにマニュアルを策定し、職員全体に内容の周知を行う。	※防災マニュアル策定済。	

(9) 介護

基本方針	利用者一人一人が安全な生活を送ることができるよう、情報収集を行い、サービス提供できるよう努める。	
重点目標 / ・ 実施計画	※ 実施報告	
1. 情報の共有 ・情報の収集と交換を積極的に行い、部署間の円滑な連携に取り組む。	※各自が得た情報を多職種へ積極的に情報提供を行い円滑な連携に取り組むことができた。	
2. 介護技術向上 ・介護技術の研修に参加し、技術の向上に努める。	※多くの研修に参加することはできなかったが、参加した職員を中心に介護職員間で研修内容を共有し、技術向上に役立てることができた。	

<各ユニット>

	目標 / ・ 実施計画	※ 実施報告
山の都	1. ユニットの美化に努める。 ・ホール・居室の整理整頓に努める。 ・季節に合わせた装飾を行う。	※ホール、居室、ベッド周り、タンスなど各職員に担当を決め、責任を持って整理整頓に努めた。 ※季節に合わせた装飾でユニットの美化に努めた。
	2. ADL（日常生活動作）低下防止 ・レクリエーション、機能訓練の実施をする。 ・残存機能を維持できるような声かけ・介助をする。	※各利用者の体調に合わせてレクリエーション、機能訓練など参加できるように促し、ADL（日常生活動作）低下防止に努めた。 ※常に声かけを心がけ、本人ができる動作が維持できるようサービス提供に努めた。

季 の 都	1. ユニット内及び居室の環境整備 ・一行為一手洗いを徹底し、感染予防に努める。 ・ホール・居室の整理整頓を行い、常に清潔を保つよう努める。	※1人1人の疾病を理解するよう努め、人から人への感染を予防した。 ※ホール内、各居室のベッド周り等、荷物、物品で利用者の事故及び怪我つながるものを片付け、対応しそれを防げた。
	2. ADL(日常生活動作)の低下予防と体調管理 ・常に声かけをし、コミュニケーションを図ることができるよう努める。 ・体調の変化を見極め、看護職員への報告と速やかな対応を心掛ける。	※業務中でも状態を観察することで細かい所まで目が行き届いていたと思う。徐々に低下していく利用者のADL(日常生活動作)を引き続き見極めていけるよう些細なことでも看護職員へ報告、対応できるよう努めた。
海 の 都	1. ADL(日常生活動作)低下の防止に努める。 ・口腔体操・機能訓練・レクリエーション活動へ参加を積極的促し、他者との交流を図ることにより機能低下防止に努める。 ・他職種職員とともに情報を共有し、体調管理に努める。	※口腔体操、機能訓練に参加していただき、ADL(日常生活動作)低下の防止に努めた。また、ユニット行事を実施し、他者との交流を図れるよう努めた。 ※体調、感情の変化に注意、観察し介護職員・看護職員間で情報を共有し対応できるよう努めた。
	2. 身体の清潔保持と感染予防の徹底 ・常に清潔な衣類を身につける。 ・おむつ交換入浴介助を通して身体の変化を観察する。 ・一行為一手洗い消毒を徹底し、感染を防ぐ。	※古くなって破れてしまった衣類などご家族に確認していただき持ち帰り又は処分をし、季節に合った衣類を身につけるよう努めた。 ※排泄介助、入浴介助時身体の変化を観察し常に清潔が保てるよう努めた。 ※職員も体調管理し、感染の媒介者にならないよう心がけ、感染防止に努めた。
花 の 都	1. 事故のない安全な生活をおくることができるようにする。 ・利用者の一人一人に合った介護に努める。 ・職員の技術向上を目指す。	※利用者のADL(日常生活動作)等日々変化するなか、今その人にとってどのような対応がベストなのかユニット職員だけでなく看護職員、介護支援専門員(ケアマネージャー)等と情報を共有し話しあった。その結果利用者に合った安全な介護に努めることができ、その中で職員の技術や意識の向上ができたのではないかと感じた。
	2. ユニット内の環境整備 ・居室まわりの整理整頓に努め、安全で安定した生活を送ることができるようにする。	※歩行や車椅子自操がしやすいようにタンスから物が溢れるのを防ぐため衣替え整理整頓に努めた。
森 の 都	1. ADL(日常生活動作)低下の予防 ・レクリエーション活動などに積極的に参加して頂き他利用者様とのコミュニケーションを図る。 ・身体面・精神面共に機能低下しないよう援助する。	※機能訓練などに参加していただき他者との交流を図るよう努めた。 ※毎月ユニット行事を行い、楽しい時間をすごしていただけるよう努めた。
	2. 身体の清潔保持と感染予防の徹底 ・常に清潔な衣服を身につけ、入浴・排泄介助を通して身体的な変化を見つけられるよう観察に努める。 ・一行為一手洗い消毒を徹底し、医務との情報共有で統一した介護の提供に心がける。	※入浴や排泄介助を通じ状態を把握し、すぐに対応できるよう、情報の共有に努めた。 ※一行為一手洗い消毒を徹底し、感染予防に努めた。
空 の 都	1. 感染防止の徹底。清潔保持。 ・各利用者の介助後の手洗い、消毒に勤め、感染及び蔓延を防ぐ。	※感染防止のため、ホール、テーブルやコップ、歯ブラシの消毒を行い、常に清潔を心がけた。 ※一行為一手洗い消毒を心がけ、感染予防に努めた。
	2. ユニット内及び各居室の整理整頓。 ・ADL(日常生活動作)低下・認知症が進むことで物色あるいは事故につながるのを、日頃から整理整頓に努め、快適な環境を提供できるよう努める。	※各居室内ホールを整理整頓し、落ち着いた生活を送ることができるよう努めた。 ※体調の変化感情の変化に気付けるようコミュニケーションを図った。

平成 29 年 度 事 業 実 施 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘
(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

運営方針	利用者ひとりひとりの心身の状況に応じた介護を行い、「安全そして安心」で安らぎのある生活を送ることができるよう支援するとともに、地域に貢献し信頼され選ばれる施設であるよう努める。	
	重 点 目 標 / 実 施 計 画	※ 実 施 報 告
	<p>1. 利用者の在宅生活の継続と施設ケアの充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体・精神状況にあわせた介護、生活の継続性を意識した質の高いサービスを提供する。 ・各家庭環境・利用者の背景を考慮し可能な限り利用者・家族のニーズに応えられるよう務める。 ・補助事業により福祉車両を一台購入することにより、利用者送迎の充実化を図る。 	<p>※利用者の状況を理解し、在宅生活での継続性を意識したサービスが提供できた。</p> <p>※利用者、家族のニーズを把握し、そのニーズに応えられるようサービス提供に努めた。</p>
	<p>2. 利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況とハード面における危険箇所を把握し、事故を予防して安全に生活していただく。 ・継続して利用いただけるように、個人にあったサービスを心がけ、リピート率を高める。 ・不安や悩みを気軽に相談できる環境を作り、適切な助言・援助ができるよう努める。 	<p>※事故防止に努め骨折等の大きな事故はなかったが、事故の件数は増えてしまった。</p> <p>※多くの方に継続して利用していただけた。</p> <p>※利用者や家族との会話を多くし、会話の中から不安に思っていること等を聞き、助言や援助ができた。</p>
	<p>3. 給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 ・個々のQOL(生活の質)の向上に努める。 ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食事形態などを考慮し、食事提供する。 ・利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 	<p>※利用時は、必ず健康状態や嗜好調査などの食事箋の指示に従い適切な食事提供や代替食を提供し、月平均2回の行事食を実施して、食べて頂いた。</p>

平成 29 年 度 事 業 実 施 報 告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘 (地域密着型通所介護・介護予防日常生活支援総合事業)

運営方針	在宅の要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。	
重点目標 / 実施計画	※ 実施報告	
<p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業により福祉車両を一台購入することにより、利用者送迎の充実化を図る。 ・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 	<p>※介護者の介護負担軽減につながるサービスの提供に努めた。</p> <p>※福祉車両の購入、車両整備等により、利用者送迎の充実化に努めた。</p> <p>※家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密に、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。</p> <p>※レクリエーション等内容の充実を図り、楽しく過ごせる時間の提供と、季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、生きがいを感じられるようなサービスの提供に努めた。</p> <p>※定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合った、サービスや個別機能訓練の提供に努めた</p>	
<p>2. 研修等への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 	<p>※積極的に研修に参加することができ、報告会、事業所内研修会を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。</p>	
<p>3. 苦情処理の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 	<p>※利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決をするよう努めた。</p>	
<p>4. 事故対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 ・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。 	<p>※事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するよう努めた。</p> <p>※事故等が発生した場合は、シュミレーションによる検討会、研修会を行い、再発防止に努めた。</p>	
<p>5. 給食</p> <p>健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。個々のQOL（生活の質）の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食態などを考慮し、食事提供する。 ・利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり、月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 	<p>※利用時は、必ず健康状態や嗜好調査などの食事箋の指示に従い適切な食事提供や又代替食を提供し、月平均2回の行事食も実施して食べて頂いた。</p>	

平成 29 年 度 事 業 実 施 報 告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘 （認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護）

運営方針	認知症の診断を受けている要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。認知症に対する専門的な知識・対応を用いて症状の緩和・進行予防に努め、その家族等介護者の相談に対応していく。
重点目標 / 実施計画	※実施報告
<p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業により福祉車両を一台購入することにより、利用者送迎の充実化を図る。 ・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 	<p>※介護者の介護負担軽減につながるサービスの提供に努めた。</p> <p>※福祉車両の購入、車両整備等により、利用者送迎の充実化に努めた。</p> <p>※家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。</p> <p>※レクリエーション等内容の充実を図り、楽しく過ごせる時間の提供と、季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、生きがいを感じられるようなサービスの提供に努めた。</p> <p>※定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合った、サービスや個別機能訓練の提供に努めた。</p>
<p>2. 研修等への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 	<p>※積極的に研修に参加することができ、報告会を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。</p>
<p>3. 苦情処理の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 	<p>※利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決をするよう努めた。</p>
<p>4. 事故対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 ・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。 	<p>※事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するように努めた。</p> <p>※事故等が発生した場合は、シミュレーションによる検討会、研修会を行い、再発防止に努めた。</p>
<p>5. 給食</p> <p>健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。</p> <p>個々のQOL（生活の質）の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食態などを考慮し、食事提供する。 ・利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり、月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 	<p>※利用時は、必ず健康状態や嗜好調査などの食事箋の指示に従い適切な食事提供や又代替食を提供し、月平均2回の行事食も実施して食べて頂いた。</p>

平成 29 年 度 事 業 実 施 報 告

施設名：居宅介護支援事業所 聖徳荘

運営方針	在宅において、利用者様ひとりひとりが安心してその人らしく暮らせるよう自立支援に努め、大切な人達との絆を大切にする。	
	重 点 目 標 / 実 施 計 画	※ 実 施 報 告
	<p>1. 居宅サービスが円滑に提供できるよう、居宅サービス提供事業者及び利用者のかかりつけ医師等との連携を図る。</p> <p>・関係機関との連携を密にとる。</p>	<p>※医師や関係機関との連携が出来るだけ取るように努力することができた。</p>
	<p>2. 個別のニーズに対応し、その人らしさを組み入れた居宅サービス計画を作成する。</p> <p>・ニーズに応じたサービス計画書の作成。</p>	<p>※本人・家族の視点になり各事業所と連携を図り、居宅サービス計画を作成することができた。</p>
	<p>3. 多様なニーズに応えられるよう、研修会等に参加し、資質の向上に努める。</p> <p>・研修会等への積極的参加。</p> <p>・利用者様家族等が安心して相談に応じられるようにする。</p>	<p>※施設見学などへ参加し、資質の向上に努めることができた。</p> <p>※安心して相談できる環境作りに努めた。</p>

[研修会参加一覧]

社会福祉法人以和貴会
-平成29年度事業報告-

No.	期間	研修名	主催	部署	出席人	職種
1	H29.4月11日	「施設従事者等による虐待防止」研修	いわき市保健福祉部保健福祉課	デイ	1	介護員
2	4月13日	H29年度補助事業事務手続説明会	公益財団法人JKA	特養	1	施設長
3	4月20日	いわき集団栄養給食研究会総会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
4	5月15日	老人福祉施設協議会研究・研修委員会及び企画広報委員・在宅部会企画委員会合同会議	社福)福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
5	5月18日	平成29年度新規学卒求人説明会	平職業安定所	特養	1	施設長
6	5月29日	第1回福祉推進会	社福)いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
7	5月29日	H29年度介護保険サービス事業所等集団指導講習会	いわき市保健福祉課法人指導係	特養	1	統括主任生活相談員
				デイ	1	生活相談員
8	5月30日	H29年度介護保険サービス事業所等集団指導講習会	いわき市保健福祉課法人指導係	特養	2	統括主任生活相談員 主任事務員
				居宅	1	介護支援専門員
9	6月8日	H29年度安全運転管理者等講習会	福島県公安委員会 (社)福島県安全運転管理者協会	特養	1	施設長
10	6月8日	H29年度福島県老人福祉協議会在宅部会いわき支部総会	福島県社会福祉協議会 在宅部会いわき支部	デイ	1	生活相談員
11	6月28日	H29年度福島県認知症対応型サービス事業管理者研修(～29日)	福島県保健福祉部高齢福祉課	デイ	1	生活相談員
12	6月29日	H29年度地域保健関係職員等研修会「栄養改善担当者」第1回	いわき市保健所地域保健課	特養	1	管理栄養士
13	7月7日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
14	7月11日	H29年度社会福祉法人事務等研修	社福)福島県社会福祉協議会 人材研修課	特養	1	施設長
15	7月26日	内郷地区第2層協議体	社福)いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
16	7月28日	指定病院等における不在者投票事務説明会	いわき市選挙管理委員会	特養	1	介護支援専門員
17	7月31日	H29年度県社協経営者協議会総会及び全国社会福祉法人経営者協議会との共催セミナー(前期)	社福)福島県社会福祉協議会 経営者協議会	特養	1	施設長
18	7月31日	(～8月2日) H29年度応急手当普及員養成講習会	いわき市内郷消防署	デイ	1	介護員
19	8月1日	老人福祉施設協議会研究・研修委員会及び企画広報委員・在宅部会企画委員会合同会議	社福)福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
20	8月3日	H29年度応急手当普及員再講習	いわき市消防本部	特養	1	施設長
21	8月18日	介護予防・日常生活支援総合事業「(仮)いわき市短期集中予防サービス」の実施に係る事業説明会	いわき市保健福祉部地域医療介護課	特養	1	統括主任生活相談員
				居宅	1	介護支援専門員
22	9月4日	高齢者の自立支援に向けた介護事業所向け研修会	福島県高齢福祉課	居宅	1	介護支援専門員
23	9月4日	H29年度社会福祉法人理事研修	社福)福島県社会福祉協議会	本部	1	理事長

〔研修会参加一覧〕

社会福祉法人以和貴会
-平成29年度事業報告-

No.	期間	研修名	主催	部署	出席人	職種
24	9月14日	いわき集団栄養給食研究会	いわき市保健所地域保健課	特養	1	管理栄養士
25	9月20日	H29年度 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会「医務担当職員研修会」	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	特養	2	主任看護師 看護師
26	9月29日	H29年度 社会福祉施設栄養士研修	社福) 福島県社会福祉協議会	特養	1	管理栄養士
27	10月2日	自立支援に向けた「介護予防ケアマネジメント支援会議」の実施に係る事業所向け説明会	いわき市保健福祉部地域医療介護室 地域包括ケア推進課 事業推進係	デイ	1	生活相談員
28	10月4日	自立支援に向けた「介護予防ケアマネジメント支援会議」の実施に係る事業所向け説明会	いわき市保健福祉部地域医療介護室 地域包括ケア推進課 事業推進係	特養	1	施設長
29	10月11日	H29年度 社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会「主任介護職員研修会」	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	特養	2	主任介護員 副主任介護員
30	10月12日	H29年度 福島県社会福祉協議会老協「事務担当職員研修」(～13日)	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	特養	1	主任事務員
31	10月12日	H29年度 いわき市医療安全対策研修会	いわき市保健所総務課区事薬事係	特養	2	看護師
32	10月13日	第74回全国老人福祉大会 福島大会 第4回実行委員会	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
33	10月20日	H29年度社会福祉施設看護等職員研修会	社福) 福島県社会福祉協議会	特養	1	看護師
34	11月5日	福島県福祉レクリエーションセミナー	福祉レクリエーション・ネットワークinふくしま	デイ	1	介護員
35	11月6日	H29年度福島県身体拘束廃止推進セミナー	福島県保健福祉部高齢福祉課	特養	2	介護員
36	11月7日	外国人留学生に対する調査研究事業に係るアンケートの実施について	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
37	11月10日	第74回全国老人福祉大会 福島大会 第5回実行委員会	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
38	11月12日	第74回全国老人福祉大会 福島大会 実行委員派遣(～15日)	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
39	11月14日	第74回全国老人福祉大会 福島大会 実行委員派遣	社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	特養	1	統括主任生活相談員
40	11月14日	第74回全国老人福祉大会 福島大会(～15日)	全国老人福祉施設協議会 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会	特養	4	主任事務員 主任介護員 主任看護師 看護師
				デイ	1	介護員
41	11月15日	社会福祉施設等における感染症予防対策研修会	いわき市保健所地域保健課感染症対策係	特養	1	看護師
42	11月16日	H29年度 介護支援専門員研修Ⅱ(2回目・3回目更新)(～17日)	福島県介護支援専門員協会	居宅	1	介護支援専門員
43	11月27日	H29年度「施設長会議」及び「行政との事務担当者会議」	福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会施設部会いわき支部	特養	2	施設長 介護支援専門員
44	11月28日	H29年度 介護支援専門員研修Ⅱ(2回目・3回目更新)(～30日)	福島県介護支援専門員協会	居宅	1	介護支援専門員
45	11月29日	いわき市住民支え合い活動づくり事業「内郷地区第2層協議体」第2回会議	社福) いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長

[研修会参加一覧]

社会福祉法人 以和貴会
-平成29年度事業報告-

No.	期間	研修名	主催	部署	出席人	職種
46	11月30日	H29社会福祉法人福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会 給食担当者研修会	社福) 福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会	特養	1	管理栄養士
47	12月1日	H29年度第2回地域保健関係職員等研修会「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保健課	特養	1	管理栄養士
48	12月7日	H29年度 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会「機能訓練担当職員研修会」	社福) 福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会	特養	1	看護員
49	H30.1月10日	H29年度 結核対策研修会	いわき市保健所地域保健課感染症対策係	特養	2	看護員 介護員
50	1月15日	内郷・好間・三和地区における「認知症地域相談窓口」の登録に係る説明会	いわき市内郷・好間・三和地区保健福祉センター	特養	1	施設長
51	1月26日	第3回老人福祉施設協議会研究・研修委員会、企画広報・在宅部会企画委員会	社福) 福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
52	1月26日	H29年度 福島県社会福祉法人経営者協議会並びに全国社会福祉法人経営者協議会との共催セミナー(後期)	社福) 福島県社会福祉協議会経営者協議会	特養	1	施設長
53	1月31日	福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 施設長会議	社福) 福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会	特養	1	施設長
54	2月9日	H28年度いわき方部現任認定調査員研修会	いわき市役所長寿介護課介護認定係	居宅	1	介護支援専門員
55	2月16日	いわき市住民支え合い活動づくり事業「内郷地区第2層協議体」第3回会議	社福) いわき市社会福祉協議会内郷地区協議会	特養	1	施設長
56	2月21日	平成29年度福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 第2回総会及び施設長・事務長等合同研修会	社福) 福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会	特養	1	施設長
57	3月5日	H29年度第3回地域保健関係職員等研修会「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保健課	特養	1	管理栄養士
58	3月7日	H29年度「社会福祉法人の地域における公益的な取組」推進セミナー	社福) 福島県社会福祉協議会地域福祉課	特養	1	施設長
59	3月8日	H29年度 老人福祉協議会 施設部会・在宅部会いわき支部職員合同研修会	福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会施設部会いわき支部	特養	3	介護支援専門員 介護員
				デイ	1	生活相談員
60	3月22日	H30年度介護報酬改定等に係る説明会	いわき市役所長寿介護課	居宅	1	介護支援専門員
61	3月27日	H30年度介護報酬改定等に係る説明会	いわき市役所長寿介護課	特養	3	統括主任生活相談員 主任事務員
				デイ	1	生活相談員
*合計					81名	
*内訳					本部	1名
					特養	56名
					デイ	17名
					居宅	7名